

# ★生徒指導課だより

—第5号—

～鹿高生が日々の振り返りをするためのエッセンス～

2019. 11. 15



## 「マラソン 確かな成長」

皆さん、マラソン大会お疲れ様でした。今日のマラソン大会はどうでしたか？練習通りに走れましたか？走っているときに、「キツいな」「大変だな」と感じたと思います。しかし、「大変」というのは「大」きく「変」わると書きます。今日大変なことを乗り越えたことは、自分を大きく変えたということです。最後まであきらめず走り抜いた達成感と、全力で自分と向き合ったことを忘れずにこれからの学校生活に活かしていきましょう！

生徒会長

## 「何のために？」

「つまり、人のために自分の良いところを活用して、たくさんの人を喜ばせる力に変えるためではないでしょうか。」

何のために勉強をするのか？何のために部活動に励むのか？何のためにクラスがあるのか？「なんでなん？」と考えたことはありますか。

学問だけを詰め込んでも、身体能力や技術だけを高めても、それだけ（単体）では人の役に立てることにはほとんどありません。人を喜ばせるためには、「人が何を求めているのか」を察知（観察）する力が欲しいです。人の考えていることや、心、気持ちを想像するためには、思いやりが要ります。それが磨かれるには経験値が必要です。

辛さや、苦しさを味わったことがあれば、そういう時の気持ちが共感しやすいものです。乗り越えた喜びを知っている人は、他人の達成感にも共感できるでしょう。色々な経験値を積むことで、「きっとこうかもしれない」と人への思いやりの思考と広い心、結果として気遣い（付加価値）が生まれてきます。

これがあって初めて社会のニーズ（需要）に対して応える（供給する）ことに繋がります。

経験はいつどこでするのか？嬉しい、悔しい、辛い、楽しい、有り難いなど。思いやり（仁）はいつどこで磨くのか？

「仁」という心（慈しみ、他人をいたわる、愛を持つ）

そういう時間をどうやって確保するか、考えてみましょう。

#プラスα #付加価値 #思いやり #気遣い #苦しさ #辛さ #共感 #喜び #達成感 #経験値 #広い心 #観察力

## 「鹿西 High light」

今月は石川県の国語科の会議が本校で行われました。数多くの来校者があったことを皆さんも覚えていると思います。その時に、鹿高生の挨拶についていくつものご意見を頂いたそうです。

内容をまとめると以下の通りです。

- 歩いていても立ち止まって
- きちんと目を見て
- 柔らかい表情で
- 爽やかに、明るく

心のこもった素敵ないい挨拶ができる生徒がおる。

というご意見でした。良い環境でこそ、良い成果に繋がります。環境は私たちが自分で作ります。何かが変わり始めてきていますね。良い方向へ。